３歳児　　森の組・川の組
(20名)　(20名)
保育研究シート

２０２５年２月７日（金）
(担任) 佐々木麻美・谷地理沙・黒瀬愛佳

1. 子どもたちの姿

入園当初は、初めての環境に戸惑いながらも、教師と一緒に、保育室のいろいろなものを使ってみたり、園庭のいろいろなところへ行ってみたりして遊ぶなかで、少しずつ緊張がほぐれていった。保育室を出た先にあるお山への階段を、教師と子どもたちで一歩一歩のぼっていった春に比べ、３学期の今、友達と一緒に出かける足取りはしっかりとたくましくなり、幼稚園が自分たちの場所になってきたことを感じる。

園での暮らしのなかで、年中・年長児との出会いもたくさんあった。ショーやお店屋さんに誘われると、見せてくれるものに見入り、つくってくれたものを大事に持つ姿があった。徐々に自分たちでも、身の回りのものを使い、遊びに必要なものや場を作りながら、友達と一緒に遊ぶことがどんどん楽しくなってきた。教師も一緒に身体をたくさん動かしながら、子どもたちの楽しさを共感し、関わりが広がっていくように支えている。

また、友達との関わりが増え、思いがぶつかる、つくりたいものが思うように実現できないなど、戸惑うことも増えてきた。その時々の子どもの思いを受けとめ関わりながら、その人らしさを十分に発揮しながら、友達と一緒も嬉しいと感じていけるように願っている。

2. 子どもたちへの願い（教育課程、かかわりの視点から）

＊自分とのかかわり ～戸外でのびのびとからだを動かして遊ぶ～

寒さに負けず、からだを動かす気持ちよさ、ぽかぽかと温かくなってくる感覚を味わい、戸外で過ごす楽しさや冬ならではの自然を十分に味わってほしい。

＊人とのかかわり　～自分の思いを表しながら、いろいろな友達と関わって遊ぶ～

友達と一緒に遊びたい気持ちが伝わってくる一方で、違いに戸惑う姿もたくさん見られるようになってきた。自分の思いに気付き、相手にも思いがあることを感じつつ、友達と遊ぶ楽しさをたっぷり味わい、関わりを広げていってほしい。

＊もの・こととのかかわり　～イメージしたものをつくったり、興味を持ったことに関わったりして遊ぶ～

友達や教師がしていることやつくったものに気付き、関わり合って遊ぶ面白さを味わってほしい。身支度など、自分自身のことを自分なりにやろうとしている姿が見られるようになってきている。できる嬉しさを喜び、自信につなげていってほしい。

3. 本日の流れ

時間	幼児の活動	留意点・手だて
9:00 ～9:10	登園 挨拶・手洗い 好きな遊び ままごと・井形ブロック・木製電車・積み木・描画・製作・ごっこあそび・コマ砂場・固定遊具・おいかけっこ・かくれんぼ ４・５歳児のお店へ	・一人ひとりの表情や様子を受けとめ、身支度や手洗いを促す。 ・一人ひとりがやりたいことを表そうとする姿を受けとめ、遊び出せるよう援助する。 ・場やものを一緒に考えたり作ったりしながら、やりたいことや、友達との関わりを楽しめるよう支える。 ・遊びの中で、うまくいかずに戸惑う気持ちを素直に表す姿を受けとめ、自分や相手の気持ちを感じられるよう関わる。 ・ものや場を適宜整理し、落ち着いて取り組めるような雰囲気づくりを心がける。材料や道具の扱い方はその都度丁寧に伝える。 ・教師も一緒にイメージを共有しながら動き、身体を動かす楽しさや気持ちよさを感じられるようにする。 ・４・５歳児との自然な関わりを大事にし、３歳児なりの楽しみ方ができるよう、教師で連携して援助する。
10:25	片付け トイレ 身支度　※靴持ち帰り 集まり 手遊び・絵本など	・片付けでは、できることをしようとする姿を受け止めていく。 ・自分なりにやろうとする姿を認めつつ、週末の疲れが見られる場合は、教師も手伝い、身支度を整えられるようにする。 ・集まりでは、みんなで歌をうたう、絵本を見るなど、一緒に過ごす楽しさを感じられるように工夫する。
11:00	降園	・降園時は、全体の様子を見ながら個々に応じて関わり、落ち着いた雰囲気で帰ることができるようにする。

＜最近の遊びマップ＞

砂場

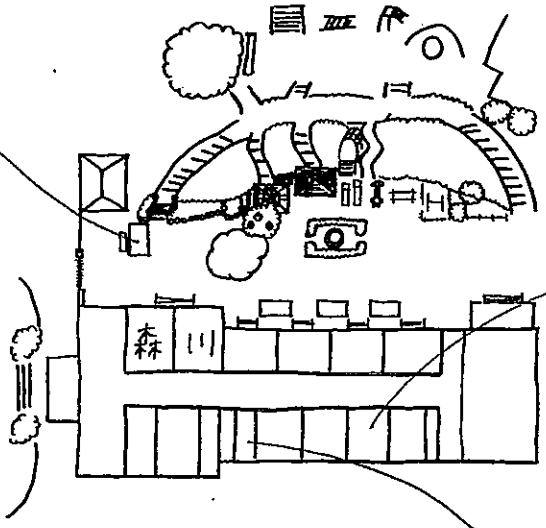
工事やお料理が最近のお気に入り。砂場遊具を何かに見立てたり、必要な道具を年長組から借りてきたりして、ものをたくさん使ってイメージ豊かに遊んでいる。

お庭・三和土

保育室前の空間は、安心できる自分たちの場所。1人が始めたことに興味を持った人が繋がり、森と川が混ざり合う様子もタタい。

お山

思い切り走ったり跳んだり転がったりして、のびのび身体を動かしている。教師と出かけることもあれば、友達同士で声をかけあって行くことも。お気に入りのものをたっぷり運び、自分たちの場所作りも嬉しそう。



＜保健室＞

けがをした時、ここに行けば手当てをしてもらえると分かってきて、友達のけがを知らせたり、みんなで付き添って行ったりしている。絵本もたくさん置いてあり、借りて来る人もいる。

保育室

ダイナミックにものを動かして場を作り、何かになりきって遊んだり、じっくり製作やブロックをしたりして、安心して遊んでいる。
困ったことがあると戻って来る、大切な拠点。

廊下・5歳4歳保育室

5歳児・4歳児がお店やショーを始めると、わくわくして出かけている。そこから刺激を受けて、自分でもやってみたいと動き出すことも。
最近は5歳児のドレスに憧れて、借りに行くことが続いている。

＜教材室＞

作りたいイメージがたくさん出てくるようになり、必要な材料を探しに、教師と一緒に出かけている。

２０２４年度２月①週案【２／３～２／７】　　３歳児　森の組・川の組　　担任　佐々木　麻美・谷地　理沙・黒瀬　愛佳　　お茶の水女子大学附属幼稚園

前週の子どもたちの姿から

自分とのかかわり

・動物、剣、手裏剣など、自分でイメージしたものを作りたい、友達と同じものを作りたいなどと教師に伝え、やってみようとする姿が増えている。持てるようにしたい、もっと固くしたいなど、それぞれなりに表す思いを受けとめ、教師も一緒に考えながら応えている。
・朝は寒くても、教師と一緒に走って、身体を動かしながら遊び出している。今週は気温が下がる予報なので、寒さを身体で感じることも大切にしながら、元気に過ごせるように配慮していきたい。
・自分のコマを回してみようと手に取る人が増えてきた。回らないとすぐにしまってしまう人もいるので、やってみたくなる楽しい場をつくっていきたい。

人とのかかわり

・保育室では、積み木やキッチン、椅子などを動かして、プリンセスやポケモンごっこの場をつくったり、お山や、お山へ向かう斜面にはゴザやままごと道具を運んでおうちごっこをすることなどが続いている。楽しそうな場の雰囲気を感じて、関わろうとする人がいたり、他の遊びの途中で招いてもらい、関わりが生まれたりすることを大事にしてきた。
・「先生ドロボウになって！」と子どもたちが警察になって追いかけることを楽しんでいる。今までこうした遊びに興味を持たなかった人も、始まった雰囲気を感じて身体が動き出し、一緒に遊ぶようになってきた。金曜日には、たまたま両クラスで「かくれんぼしよう！」という流れが生まれ、混ざりあって見つからない場所を探して、かくれたり、探したりと盛り上がった。
・友達との関わりが広がる中で、友達がものをとった、こうしたいのにわかってもらえない、などと怒ったりぶつかったりすることもたくさんあった。教師が間に入り、両者の思いを聞き、橋渡しすることを丁寧に心掛けつつ、時には気分が変わるように働きかけることもしてきた。

もの・こととのかかわり

・砂でのごちそう作り、葉っぱでの色水作り、シャベルや土管などで工事、井形ブロックを使っての乗り物作り、デッキブラシでの掃除など、イメージに合わせ、いろいろなものを使って遊んでいた。ものをあちこちに運ぶので、片付けで持ち帰るのが大変だが、まずは動き出したことを大切にし、やりたいことが十分にできるように支えようと関わっている。
・**親子体操**をとても楽しみにしていて、この日はがんばって片づけて、スムーズに遊戯室へ向かった。親子で息を合わせ、いろいろなものになりきった。だんだんと身体が動き、笑顔が増えていった楽しかった体験が、家庭につながっているといいなと思う。
・2月３日の園での**節分**に向けて、アトリエで鬼作りをする年長児の姿に気づく子どもはあまりいなかったが、「お母さんがいないとこわい」と素直に伝えてきたり「鬼がきたら退治する」などと金棒らしいものを作る人たちもいた。獅子舞もおばけもとても怖がる人が多いので、月曜日の豆まきはどうなるか心配だが、みんなで豆をまいて、福を呼び込みたい。

＊週のねらい
○戸外でのびのびと身体を動かして遊ぶ
○自分の思いを表しながら、いろいろな友達との関わりを楽しむ
○身の回りのことに自分で気づき、丁寧に取り組む

環境の構成・教師のかかわり

○戸外でのびのびと身体を動かして遊べるように

・冬の自然の不思議さ（息が白くなる、霜がおりる、氷が張るなど）に気づく姿を受けとめ、友達や教師と一緒に味わえるようにする。
・鬼ごっこや相撲など、子どもたちが興味をもった遊びをきっかけに、友達や教師と関わって楽しめるようにする。
・かくれんぼ、あぶくたったなど、2 クラスで一緒に楽しめるような場づくりを工夫する。

＊**豆まき**…年長児の取り組みの雰囲気を感じながら過ごす。
鬼に驚くことが予想されるが、不安にならないよう配慮する。「おにはそと、ふくはうち」とみんなで声を出し、豆まきを楽しむ。
歌をうたったり、絵本を見たりして節分の意味に触れ、元気に大きくなることの嬉しさ、大切さを伝える。
（今年も豆は食さず。投げる豆を口にしないように注意する）

○自分の思いを表しながら、いろいろな友達と関わって遊べるように

・一人ひとりが自分のやりたいことを見つけ、言葉にして伝えたり、教師や友達と一緒に考えたりして、思い描いている遊びが進められるように援助する。
・自分の思うようにならず葛藤している時には、その気持ちを受け止め、一緒に悩みながら、どうしたらよいかを考えていくようにする。
・三和土や園庭、廊下、コート室など、2クラスが混ざり合い遊ぶ場を意識し、様々な友達と関わる楽しさが生まれるよう支える。
・やっていることが友達に伝わりやすい物作りや場作りを支え、友達と気持ちを合わせて遊ぶ楽しさが十分に味わえるようにする。

＊**コマ**…いろいろな回し方や転がし方を試す、クレヨンで色を塗ってみる、色の変化を見る等、一人ひとりの興味を捉え、教師も一緒に楽しむ。
同じコマを持っている嬉しさから、友達と一緒に遊んだり、2クラスが混ざり合ったりする楽しさが広がるように、段ボールや机などを場作りに生かす。
＊**製作**…やりたいことに合わせて、画用紙・広告紙・新聞紙・小さい空き箱、小さな厚紙など、子どもたちが扱いやすい材料を適宜用意する。
一人ひとりのイメージを大切にし、個々の取り組みが互いに見えるような場づくりや、一緒に作ることを楽しめるような雰囲気づくりをしていく。
＊**他学年との関わり**…年中・年長の遊びに気づき、見せてほしい、一緒にやってみたいと興味をもつ一人ひとりの姿を捉え、教師も一緒に動く。

○身の回りのことに自分で気づき、丁寧に取り組めるように

・身の回りのことを自分なりにやろうとする姿や友達と一緒にやる姿を捉え、適宜手をかけながら、自分でできる嬉しさや自信につながっていくようにする。
・寒い時はコートを着る、外から戻ったら水を飲んだり手洗いをしたりする、早めにトイレに行くなど、寒い時期の過ごし方を伝えながら援助していく。
・弁当時は、友達や教師と楽しく食べる雰囲気を大切にし、片づけてお腹を休めてから再びやりたい遊びに向かえるように、個々に必要な援助をする。
・降園時の集まりでは、紙芝居や絵本、簡単なゲームや歌など、みんなで過ごす楽しさを味わえる内容を工夫する。

３日（月）	４日（火）	５日（水）	６日（木）	７日（金）
9:00～15 登園 手洗い、水分補給 好きな遊びをする	9:00～15 登園 手洗い、水分補給 好きな遊びをする	9:00～15 登園 手洗い、水分補給 好きな遊びをする	9:00～15 登園 手洗い、水分補給 好きな遊びをする	**＜公開保育研究会＞** **9:00～9:10**　登園 手洗い、水分補給 好きな遊びをする
園庭：園庭やお山で遊ぶ・砂場・鬼ごっこ・かくれんぼなど **保育室・廊下**：製作・ごっこ遊び・ウレタン積み木・汽車・井形ブロック コマ回しなど				
10:20　片付け 豆箱もらう **豆まき** トイレ、手洗い 水分補給、身支度 集まり 11:00　降園	10:50　片付け、弁当準備 11:15　弁当 好きな遊びをする 12:25　片付け、トイレ、手洗い、水分補給、身支度 集まり 13:00　降園	10:25　片付け トイレ、手洗い、水分補給 身支度 集まり 11:00　降園	10:50　片付け、弁当準備 11:15　弁当 好きな遊びをする 12:25　片付け、トイレ、手洗い、水分補給、身支度 集まり 13:00　降園	10:25　片付け トイレ、手洗い、水分補給 身支度、靴持ち帰り 集まり 11:00　降園
公開保育に向けて打ち合わせ 菊地先生来園　紀要届け		村石先生・横井先生来園	宮里先生来園・前日準備・拡大 写真申込み締め切り	

うた・手遊び：「ゆげのあさ」「おしくらまんじゅう」など　　絵本・紙芝居：「てぶくろ」　冬や雪など季節を感じるもの